



長門の話題

Topics

東日本大震災被災地へエールを送る

みすゞさんの詩で応援

3月10日(土)から11日(日)にかけて、金子みすゞさんの512編の詩を、参加者がリレーをしながらかけて朗読するイベントがルネッサながとで開催されました。このイベントは、東日本大震災が起こって1年が経つことから、被災地へエールを送ろうとみすゞ燦参SUN実行委員会が企画

したもので、仙台市の金子みすゞ展会場と中継をつなぎながら実施。イベントの様子は、インターネット上で生放送されました。参加者はアートの中心から心を込めて詩を朗読しました。朗読の後インタビュが行われ、東北へのメッセージなどを述べていきました。



▲12万枚のみすゞさんのモザイクアートの中で朗読

▼たくさんの人が朗読しました



長門市認知症徘徊模擬訓練

早期発見を目標に捜索!

3月15日(木)、仙崎公民館周辺で長門市認知症徘徊模擬訓練が実施されました。これは、長門市と仙崎思いやりネットワークが主催で行った訓練で、約100人が参加しました。認知症患者が行方不明になったことを想定し、参加者は本部で配られた写真や資料を手がかりに捜索をしました。



市外から新規就農を目指して研修

新規就農者の先駆者に

3月7日(水)、市外から新規就農を目指して長門市に研修に来ている京都府出身の東野敦嗣さんと大阪府出身の田淵隆美さんが大西市長を表敬訪問しました。日置地区の農家 林勇治さんのもとで研修し、日置地区で独立する予定です。



▲左から、田淵さん、林さん、東野さん

長門どうじん風の会が追悼風揚げ

復興を祈る白い風が空を舞う

3月11日(日)14時から、向陽小学校グラウンドで風揚げ大会が開催されました。これは、日本の風の会が、東日本大震災で被災した地域が1日も早く復興できるように祈念し、追悼のために白い風を全国一斉に上げようという企画に「長門どうじん風の会」が

賛同し開催したもので、当日は向陽校区の児童や保護者らを中心に約40人が参加しました。14時46分の地震発生時刻には、全員で黙とうを行い、東日本大震災で亡くなった人を追悼しました。その後、全員で白い風を揚げました。



地域審議会が答申書提出

チームながと構築のために

2月28日(火)、長門、三隅、日置、油谷の4つの地域審議会が来年度からの「長門市総合計画後期基本計画」の策定についてそれぞれの答申書を大西市長に提出しました。これは今年の1月に市長が同計画策定について諮問した事に対する答申で、おおむね妥当

という内容の答申書と、施策に優先順位をつけたり、計画の評価・検証をするなどの付帯意見が手渡されました。大西市長は「さまざまな課題に取り組みながら市民と行政が一体となり、チームながとを構築していきます」と話しました。



市内小中学校で卒業式

それぞれの卒業を祝う

3月10日(土)には市内各中学校で、16日(金)には各小学校で卒業式が行われました。

深川中学校では、141人の生徒が9年間の義務教育を終えて、新たな春を迎えました。式では、卒業生全員で合唱を行うなど、感謝の気持ちを表していました。この日、長門市では334人が中学校を卒業



▲深川中では、卒業生を在校生や先生たちが見送る

▼明倫小では卒業生と在校生が思い出を語り合う



し、新たな門出を迎えることになりました。

明倫小学校でも、31人が卒業を迎えました。「卒業生のうた」では、楽しかった学校生活をふりかえって、卒業生と在校生が言葉を贈り合っていました。

この日、市内では344人が小学校を卒業しました。